

聴音・ソルフェージュ B 課題(ピアノ・作曲・指揮専攻以外)

新 曲 視 唱

S-I と S-II の 2 曲が課せられる。

各曲ともピアノで終止形が与えられ、その後20秒程度の黙読が許される。

S-II の課題は、ピアノ伴奏付きで行われる。

和 声 聴 音

H-I それぞれの和音の下声部(1の場合はラの音)が与えられ、三和音と七の和音(共に基本形)を聴き取る。

演奏は、下声部の音を弾き、続いて和音全体を2回ずつ弾く。

H-II 三声の和声聴音課題

(a)、(b)とも和声の下声部が与えられる。また調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏3回とする。

H-III 三声(ソプラノ・アルト・バス)の和声聴音課題

調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏4回とする。

H-IV 四声密集形の和声聴音課題

H-IIIと同様に調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏6回とする。

H-V 四声体の開離形の和声聴音課題

演奏はH-IVと同様に行われる。

旋 律 聴 音

各課題とも、調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示される。

M-I 演奏は通奏1回、前半を3回、通奏を1回、後半を3回、通奏1回の順で実施される。

M-II 二声の聴音課題

演奏はM-Iと同様に行われる。

M-III 暗記の課題。通奏4回。その間、受験生は筆記をせず、4回目を弾き終わった後、筆記開始となる。

S-I

Andante

mp *mf* *p*

p

S-II

Andantino quasi Allegretto

うた

ピアノ

mp

mp *p*

p *p*

mf *mp*

mf *mp*

poco rit. *p*

mf *poco rit.* *p*

H-I

三和音

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

H-II

(a) g moll 2分の2拍子

(b) D dur 2分の2拍子

H-III 三声 (ソプラノ アルト バス)

d moll 2分の2拍子

H-IV 四声体 密集

G dur 2分の2拍子

H-V 四声体 開離

a moll 2分の2拍子

M-I G dur 8分の6拍子

M-II d moll 4分の3拍子

M-III B dur 2分の2拍子 (暗記 通奏4回)